

坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学校だより
令和7年 1月号
発行責任者：中村宗義



やってみよう

頑張ってみよう

みんなが笑顔の坂元小

はじめての〇〇

校長 中村 宗義

比較的穏やかなお正月を終え、新学期が始まりました。子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。

さて、正月明けの番組で「はじめてのおつかい」が放映されていました。親から幼い子供が買い物を頼まれておつかいに出かける内容です。親の心配をよそに、意気揚々と出発します。しかし、途中、道に迷ったり、倒れたり、時には買い物をする品物を忘れてと、いろいろなドラマがあります。観ているこちらがハラハラドキドキしてしまいます。それらを乗り越えて、幼い子供は家に戻ってきます。このとき、子供ははじめてのおつかいに「やった～。買い物できたぞ～」という達成感と、親が待っていてくれた安心感から自然に笑顔や涙がこみ上げてきます。そして、親がぎゅっと笑顔で抱きしめ、無条件に子供を受け入れています。その姿は、買い物ができたという「結果」だけではなく、様々なハプニングを乗り越えて帰ってきた「過程」を認めているように感じます。

ときに、「できた・できなかった」「勝った・負けた」と結果だけを見て、それまでの過程や取組を見逃しがちです。この番組が多くの人々から支持されているのは、子供の「やり抜く力」「あきらめない心」「挑戦する姿」などに共感できるからでしょう。

「親」という字を分解すると「立」「木」「見」となります。時には、必要以上に手を差しのべたり口を出したりするのではなく、「木の上から立って見守る」ことも必要です。初めてがなければ、2回目はありません。

今年は巳年です。脱皮を繰り返しながら成長していくといわれる縁起のよい年です。子供たちには、挑戦と失敗を繰り返し、それらを乗り越えるたくましさを身に付けながら成長してほしいです。



今後のスクールカウンセラー来校日(予定)

【県スクールカウンセラー来校日】中川 清美 先生

1月16日(木) 9:25～12:25

【市スクールカウンセラー来校日】川畑 まゆみ 先生

1月22日(水) 9:30～10:30

2月19日(水), 26日(水) 9:30～10:30



*裏面もあります。